

本庄News

2012年 12月

No. 77



秋は何処へ? 今年は「秋が短かった」という声をよく耳にします。確かに10月半ばくらいまで最高気温が20℃あったのに、10月下旬に急に寒くなり最低気温が10℃前後になりました。秋の涼しさ、風情を感じる間もなく、12月上旬に42年振りの17cmの積雪と、もう完全に真冬に突入！濃尾平野から見える御嶽山や伊吹山・能郷白山はすっかり雪化粧。夏も長ければ冬も長そうです。そして、今冬も節電が求められています。原発稼働が2基の今、その電力供給量で冬でも乗り切れることを証明するために、私たちにできる省エネを促進したいと思い、**今冬も「エコ・コンテスト」を行います。**2月分・3月分の光熱費と使用量から環境家計簿で計算。併せてエコ工夫を募ります。このニュース裏面の冬のエコ工夫などをご参考に取り組んで頂き、是非ご応募下さい。(応募用紙は来年お送りします)



「飛ぶには かがまなあかん」 ノーベル医学生理学賞を受賞した山中伸弥さんの言葉です。学生時代に柔道やラグビーで10回以上骨折を経験し、医師の世話になり、治す側になりたいと願ったが壁にぶつかった。10分で終わるはずの手術が1時間以上かかる程手術が下手で“ジャマナカ”と言われた頃は「どんどん自信をなくして、いつも小さくなっていった」と。その臨床の現場で名医でも治せないけがや病気が多いことも痛感し、病の根本原因が解明できる基礎医学が必要じゃないかと大学院に。米国留学もし充実した環境の中で研究に没頭したが、帰国すると2度目の逆境。研究を議論する相手も研究費もなく、マウスの世話に追われる日々。藪のような状態まで

追い詰められ、「つらいのなら、辞めた方がいいのでは」と心配する奥さんの言葉に、「**飛ぶには、かがまなあかん**」と自分に言い聞かせたという。人の命へのこだわりが逆境を乗り越えさせ、iPS細胞作りの出発点となったという。苦労の上の榮譽にとても勇気をもらいました。



草間彌生の永遠の魂! 水玉の女王と言われる草間彌生さんは長野県松本市出身。毎年マラソンで長野に行くが、その際に文化芸術の町松本に寄るのが楽しみで以前松本市美術館に常設展示されている草間ワールドを知り興味を抱いていた。今年の新春から朝日新聞の主催で、大阪を皮切りに東京、松本、新潟と『草間彌生 永遠の永遠の永遠』という個展を開催。11月閉会間際に松本に日帰りし、生の草間作品をたくさん見た。



同じようなものを反復しながら変っていく独特の世界で83歳になる今も大きなキャンバスに向う。それも下書きなしの一発勝負。幼少から絵を描くのは上手だったようだが、当時から幻覚を見る恐怖心からあるがままの描写ではなく、幻視の描写となった。顔の中に水玉模様があったり、目のような細胞のようなものが無数に連なって、それが形となり他人には到底理解し難い作品に。なかなか受け入れられなかったり、その表現方法でバッシングもされたりした。しかし、今となっては日本より、海外で大人気。

作品の多くは愛と死、宇宙、永遠、そして平和が込められているとのこと。ルイ・ヴィトンとのコラボなどで「今が一番忙しい」という83歳のパワーの源は生き続けたい、表現したい、伝えたい魂なのだと思う。私たちが魂を込めた仕事を心掛けていきたい。



純真無垢な心 先般、岐阜市小西郷にある岐阜特別支援学校高等部を見学しました。工業コースの紙工・印刷班は学校の卒業証書を作っているようですが、教室に入るとみんなとても元気良く大きな声で挨拶が言える。そして、動きがとてもキビキビしていて、担任の先生はまるで強いスポーツ系の部の監督のように厳しくかつ温かい指導をされているように映った。さらに、目に飛び込んできたのは、教室正面の貼紙で「**会社で必要だと思われるために**」～①あいさつ、返事をする ②いっしょうけんめい頑張る ③報告 ④正確 ⑤スピード ⑥まわりの人を思う心～とあった。ハッとさせられました。普段からよく言っている事、思っている事と同じじゃないか！**基本はどこでも同じ!** それ以上に⑥の“まわりの人を思う心”には感服しました。いろいろなつながりで他の特別支援学校高等部の先生とお話する機会もありますが、卒業後の就労にはとても苦慮されています。今の景気では一般就労はとても厳しいので、先生が必死なのがわかります。しかし、彼ら彼女らには純粋な心が感じられました。脳裏に焼きついているのは、目標に真っ直ぐ向っている輝いた目でした。純真無垢な心が人に感動を与えることを教えられました。見習って、いつまでも純真な気持ちを忘れず、真っ直ぐに、丁寧に、取り組んでいきたいと思えます。



最近のリフォームから



「住まいを長生きさせるために」

HPを見られたM様から、「外壁のメンテナンスを新築後一度もした事が無いのだが」とご相談をいただきました。早速ご自宅に伺い、素材の状況、防水の機能などを確認しました。築24年が経過しておりかなり傷みが見られました。

主な状況として

- ① 外壁サイディングのチョーキング現象（素手で外壁を触って白い粉がつく）
- ② ヘアクラック（外壁に髪の毛のような筋・ヒビがある）
- ③ サイディングジョイントのシーリング切れ（ボードとボードの間にコーキングの切れや捲れがみられる）
- ④ 巻板サイディングの破損などがありました。

これらの状態は築10年以上経過した家ならどこでも見られます。外壁は、雨風から住まいを守る大切な部分です。しかし、空気中の汚れや酸性雨、増えている紫外線などによりドンドン劣化が進んでいきます。全ての事柄がすぐに建物に深刻な悪影響を及ぼすわけではありませんが、住まいはヒトの体と同じです。痛んでいる所を処置すれば、より長持ちします。



コーキング切れ

サイディングの剥がれ

M様邸では、建物の性能維持と美観を重視して、足場を架けて全面外壁塗装（シリコン塗装）をしました。外壁の塗装には、アクリル（持ちの目安：5～8年）、ウレタン（7～10年）、シリコン（8～15年）、フッ素（15年～25年）などがあり、耐用年数が長いもの程、金額も高くなります。劣化の状況と費用対効果のバランスを考えながら判断します。

大掃除をされる際に一度ご自宅の外壁もご確認ください。気になられる点がありましたら、0120-71-6527までお問い合わせ下さい。冬の間をしっかり計画をして、暖かくなった春に塗装をすれば、紫外線が強く、梅雨や台風といった雨の多い季節への対策も取れます。



↓ 変身です



季節のメンテナンス

今の季節、朝起きると窓にベッタリ。結露はカビの原因にもなります。寒さを少し我慢して、換気を心掛けて下さい。



冬の大敵、結露対策を紹介します。

水滴はよく拭き取り普段から通風に心掛けましょう。新築の建物や気密性の高い部屋は、壁と家具の間、押し入れやクローゼットの内側に湿気が溜まりやすいので隙間を作りましょう。暖房を使用するときは、窓ガラスや壁の内側に湿気が溜まりやすいので、時々窓を開け換気をしてください。浴室や台所を使用する際には、換気扇を利用。晴天のときは窓や押入等を開放して良く換気します。また、室内で洗濯物を干したりすることは、なるべく避けましょう。

★住まいの不具合・ご質問等ございましたらいつでもお気軽にご連絡下さい。

ホームサービス専用 Free Dial 0120-71-6527 《365日 24時間 電話対応》

ちょっと になる話

「大黒柱に親父の背中跡！」

10月末に雑誌の取材で、木の家7年目の各務原市のH様宅に訪問。テーマは“薪ストーブ”で、H邸のそれは4.5帖の土間にあるため、接する和室・LDKは冬でも当然オープン。土間・和室・居間の間に8寸(24cm)の桧の大黒柱があります。大黒柱の近くにはテレビが置いてあり、ストーブとテレビの間の大黒柱はこの家の冬の特等席。

そこはお父さん(一家の大黒柱)の場所。大黒柱にお父さんの背中跡を発見しました。よく見るとお父さんがいつももたれる所が白くなっているのです。い

つもシーズン前には薪の準備をするたくましいお父さん。いつも家族のために手際良く着火して、薪ストーブの火を見守る優しいお父さん。そしていつも一家を大黒柱としてしっかり支えるどっしりとしたお父さんの印がそこにありました。体がジーンと熱くなりました。

薪ストーブを扱うお父さんの姿をお子さん達がじっと見る様子から、しっかり親父の背中を見て育っていることがわかりました。薪ストーブを通して、“親父の背中”を自然と示されているH様が輝いて見えました。



ちょっと になる話

『冬のエコ作戦』でエコ・コンに応募しよう！

原発稼働は2基のみ。今冬もやはり節電は必至です。電力の需要ピークは、夏が14時頃に対して、冬は9時～17時と一日を通して使用される傾向があるため、夏より長丁場の節電が必要です。先日の大雪の際は一気に暖房使用量が増え、10日の中部電力の電力使用率は96%を超えました。1年で消費されるエネルギー(電気・ガス・灯油など)のうち約25%が暖房に使われています。省エネをしながら、寒い冬を快適に乗り切る方法をご紹介します。



◆全般的に・・・暖房器具は必要な時だけ付け設定温度は20℃が目安。暖房を消してもすぐに室温は下がらないので、外出前や

就寝前には早めに消す。体感温度を上げる敷物や掛物を利用。暖気は上部に溜まり易いのでかき混ぜる工夫を。

- ◆エアコン・・・電源を入れる時に電力を多く消費するので、温まりすぎた時は電源を切るのではなく設定温度で調整。フィルター清掃をこまめに(2Wに1回は)。室外機周りに物を置かない。雪の後も通風を確保する。
- ◆ファンヒーター・・・フィルター清掃をこまめに(1～2Wに1回)して効率を落さない。窓の近くに置く。
- ◆コタツ・・・他の暖房と併用なら「弱」か「中」。「強」は消費電力も大。
- ◆電気カーペット・・・床に直に敷くと熱が床に逃げるので断熱マットを敷いて効率UP。低温設定。
- ◆冷蔵庫・・・夏場の設定のままでは冷

やし過ぎになるので、設定を弱める。

- ◆照明・・・早く暗くなる冬は照明の使用時間も夏より長いので、無駄な使用を控える。また、電気代が安く長寿命の蛍光灯やLEDに替える。
 - ◆外部・・・簾やよしずがそのままになっていたら取り外し、角度が低い冬の日差しが奥まで入るようにする。
 - ◆家族・・・できるだけ一つの部屋に集まる。省エネにもなるし、心も温まる！
- など、まだいろいろ工夫、アイデアがあります。
- 楽しい省エネで、体も心も、そしてお財布にも温かい冬のエコを！



木の机作りのご案内

毎年3月下旬に開催している「木の机作り」は来年も開催の予定です。日時、内容等は2月下旬頃ご案内します。ご家族で作る机は、市販品にはない手作り感があり、愛着が湧きます。



コラム 「 広葉樹と針葉樹。天然・自然林と人工林 」

科学的論拠に基づく客観的事実と異なる木材や森林についての知識が、『木の国、山の国 ぎふ』にも深く浸透しているように思います。

学生時代は超文系人間。と言うよりも理数系の科目がカラッキシだったと言う方が正確かもしれませんが……。それでも多少なりとも理数系の科目からも学んだことはあります。中学の理科の授業で学んだ『仮説を立てて立証すること』の重要さと、その方法です。今でも役立っていると思います。

広葉樹と針葉樹では広葉樹の方が貴重であると思われるように思います。私は等価であると考えのですが……。『針葉樹と広葉樹を比べると、広葉樹の方が価値がある。』これは木材価格の面では概ね正しいでしょう。針葉樹と広葉樹の違いとは何ぞや？の根源的な問いかけもなく、また指標の設定が曖昧なままに比較することには無理があると思います。

広葉樹と針葉樹の違いについて理解するにあたって、植物・種として（この言葉の使い方が正しいのかは分かりませんが）の違いは何かを調べたことがあります。広葉樹と針葉樹。目に見えて違う点は（一部の樹種では例外がありますが）落葉するか否かでしょう。広葉樹は冬になると葉を落とすにも関わらず、針葉樹は葉を留めたまま。広葉樹と針葉樹は共に植物であり樹木であるのに、どこに違いがあるのだろうか……。と。

その理由を教えてくれたのは、予備校で生物を教える講師の方でした。『植物は冬には（気温が低くなると言うほうが正確かもしれませんが）光合成より保温を優先する。針葉樹は寒冷地原産で低

温に強いが、広葉樹は温帯や亜熱帯が原産であることが多く、葉からの放熱を避けるために葉を落とすのだ。』と。

その話を聞いた私は、『ならば広葉樹と針葉樹では熱伝導率に違いがあり、針葉樹の方が熱伝導率が低いのではないか？』と想像（妄想）を膨らませたのです。ただ、聞いたその場で思考回路が働かず、先の言葉を反芻しているうちの想像だったので、誰かに確かめることもできず、分厚い書物を捲る羽目に……。調べて見れば、（木材は樹種間だけでなく、個体間の差が大きいのですが）一般的に針葉樹の方が熱伝導率が低いことが正しいと分かりました。

とにかく、「何となく……」というイメージを排除することや、経験や現象を鵜呑みにすることなく、科学的論拠を求め、その裏づけを持って、対象となるものを理解することを重視しているのは、理数系の科目を苦手としながらも、理科の授業や生物の講師の方から学んだものです。

また、森林について、天然・自然林と人工林の差異にも、間違った考えが横行しています。

岐阜県内の某市長が自身のブログで「（……リスクヘッジのためには……）産業構造は針葉樹林（人工林）ではなく、広葉樹林（天然林）でなければならない。……」と書き記しているのを見つけたら、針葉樹林（人工林）に対して広葉樹林（天然林）が優位であるかの意識が見られ、ついついコメント欄に噛み付いてしまったことがありました。『かつて杉などの針葉樹林（人工林）では表層崩壊が多発するとされていましたが、主に広葉樹が生育する林でも針葉樹林の

ような崩壊が多発していることが今日では知られています。針葉樹林は災害に弱いと一概に言うことは間違いであり、広葉樹林、混交林が針葉樹林よりも優位性を持つのは、生物多様性を維持することだと認識しています。何よりもしっかりと森林整備を施すことが最も重要だと考えます。広大な森林面積を有する〇〇市民、林業関係者などからの意見を聞いていただきたいものです。』と投稿したところ、迅速かつ丁寧にも『中川さん、ご教示ありがとうございます。広葉樹林が特に災害に強いとは言えないわけですね。』との返答が……。責任ある立場で影響力の強い人が森林について間違った認識・イメージを持っていることが我慢ならなかったのですが、過敏に反応した自分が恥ずかしいかぎりでした。

森林の持つ公益性とは、水源涵養機能・土砂災害防止・二酸化炭素吸収・生物多様性保全などが上げられます。そもそも針葉樹林（人工林）と広葉樹林（天然林）について、森林の機能としての優位性を比較することに意味があるとは思えません。天然林至上主義にも困ったものです。人間の手による人工林よりも天然林が価値があるとしたなら、歴史的な『天然』記念物的な価値です。

某市長・ブログのコメント欄に書き込んだように、山の斜面の崩壊・土砂災害は針葉樹林（人工林）でも広葉樹林（天然林）でも発生します。我が国では、広葉樹林（天然林）に比べ、針葉樹林（人工林）の面積の割合が圧倒的に多いので針葉樹林ばかりが崩壊しているように思われているに過ぎません。

私の疑い深い性格は、理数系の成績が芳しくなかったことの裏返しかもしれません。

本庄工業株式会社

本社 058-271-6527
森のすみか展示場 0120-89-5488

ホームページ <http://www.honjo-woodream.com>
Email info@honjo-woodream.com